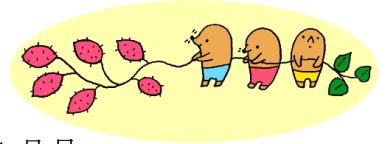


美々津中学校便り



11月号

文責：鈴木利明（校長）

コロナ禍が少し落ち着いてきた中、11月17日から2泊3日の日程で、2年生は長崎・熊本への修学旅行を実施しました。当初予定していた、日程や行先がコロナの影響で変更になりましたが、実施できたことに喜びを感じています。

いろいろな行事を行うときには、準備が必要です。特に修学旅行は、長い時間をかけて準備をします。旅行に持って行くものや見学をする場所を調べる準備もしますが、多くの時間を費やすことはありません。一番時間をかけるのは、集団行動や公共の場でのマナー等、見えないことを身に付ける準備です。時間を守る事や挨拶等、違う環境で対応できるかが試されることになります。今回の修学旅行で、バスガイドさんから、すべての日程が終わり、学校に到着する前に嬉しい言葉をいただきました。

『みなさんは、とても礼儀正しい生徒さんで、私たちも感心しました。みなさんは、当たり前と思っているかもしれませんが、集合時間を守ったり、バスを乗り降りするときに一回一回、「お願いします」とか「ありがとうございます」と挨拶したりするのは、なかなか出来る事ではありません。それを普通にやっているのは、素晴らしいことです。』

素晴らしい修学旅行が実施できた理由には2つの事があると思っています。一つは、日頃の学校生活での生活習慣がきちんとしていることです。人の話を聴く時の態度や校内外での挨拶ができていますからです。もう一つは、学校関係者以外のプロ意識の高さです。旅行会社の添乗員さんは、計画したとおりに進むように、常に行く先々に連絡しながら、スムーズに運営をしていました。バスのドライバーさんは、出発して帰ってくるまで無事に届けなければなりません。時間に遅れると、無理をしてしまい、大きな事故につながってしまうからです。さらに、見えないところでバスをきれいにしたり、出発前の点検もしたりします。そして、バスガイドさんです。ガイドさんの準備には驚かされました。バスに乗った時から、みごとにバスの中の雰囲気をついにしました。それから、知識力のすごさだけでなく、それを分かりやすく伝えていました。準備には力が必要です。準備力です。そしてこの準備力が成果を決めることになります。

準備なくして物事をスタートすると、様々な困難や壁にあたり、不安になって自分さえ見失ってしまいます。安心安定した状態で行事や物事を実施するには、次の5つの事がが必要です。

1 現在地をしる

今の自分に向き合って「心・技・体」を細かくチェックします。他の人から見てもらうのも大事です。

2 強みをみつける

自分の強みは、あれば磨けばいいし、無ければつくればいいのです。強みをハッキリさせて意識して行動していきます。

3 志を立て目標・目的を明確にする

志は行動の原点で、何のためにするのかという目的と何をを目指すのかという目標をハッキリさせると力が湧いてきます。

4 計画を立てる

目指す方向に向けて、「心・技・体」の行動計画を立て、自分が動けるように工夫することが必要です。遠くを見ながら近くを見る感覚です。

5 腹を決める

「何がなんでもやってみる」という覚悟です。後ろには絶対に引かないという強い心です。

準備は大きな木に似ています。強い根を張らないと大きな風雨に負けてしまいます。強い根が準備で、それを支える力が準備力です。時間をかけることも大事ですが、日頃からの鍛錬が必要になります。鍛錬は継続する力でもあります。

今回の修学旅行は、大人としても学ぶことが多かった旅行でした。関係したすべての人がチームとして一つになったからこそ、素敵な思い出に残る、楽しい修学旅行になったと思います。保護者の方々を含めいろいろと準備をしていただいたことに感謝申し上げます。本当にありがとうございました。子ども達はこの経験を活かしながら「心・技・体」とともに成長していくことでしょう。

1年生：校外学習（宮崎市へ）



電車で宮崎駅に移動した後、宮崎学園高校訪問、班別行動、科学技術館見学を実施しました。集団行動の意義、公的な場所でのマナー等、来年の修学旅行へ向けて学ぶことがたくさんありました。

2年生：修学旅行（長崎・熊本へ）



天候にも恵まれ、2泊3日で修学旅行に行ってきました。「時を守り、場を清め、礼を正す」という言葉があります。まさに、それを実践することができました。見聞も広めることができ、級友との思い出もたくさん作れたと思います。

3年生：ふるさと再発見（東郷町へ）



日向市に住んでいても知らないことが多いものです。それを再発見することで、知識を広めることができました。近くにあるものを大切に見直す、素敵な機会に恵まれました。

面接指導が始まりました！



今年度から県立高校の入試制度が大きく変わりました。それを受けて、面接の重みが今まで以上に大きくなるのではないかと考えています。

今年度も「キャリア教育支援センター」の御協力を得て、面接の基礎から実践的な指導までしていただきました。一番考えて欲しいことは、「自分が面接官だったら、自分を高校に合格させたいか」ということです。どんな生徒が、高校のために尽力してもらえるかを考えることで、見えてくるものがあると思います。

☆学校の様子やこれからの予定につきましては、美々津中学校ホームページをご覧ください。